

- (16)仲田元亮(1978)能勢の昆虫、兵庫
 (17)中口公一郎・吉阪道雄(1954) 六甲山蝶類目録
 MDKNEWS 別冊
 (18)中谷貴寿(1959)加古川市の蝶類、MDKNEWS
 12(1): 10-13
 (19)日浦 勇(1969)日本列島の蝶、大阪市立自然科学博物
 物館収蔵資料目録、大阪
 (20)広畑政己(1979)エゾスジグロシロチョウの採集記録
 一例、ひろおび (4): 16
 (21)広畑政己(1979)美方高原7月上旬の蝶 IRATSUME
 (3): 38-39
 (22)広畑政己(1980)兵庫県に於ける蝶5種の新産地
 てんとうむし (6): 30
 (23)広畑政己(1980)淡路島の蝶類調査報告 Parnassius
 (23): 5-8
 (24)広畑政己(1980)エゾスジグロシロチョウの採集記録
 数例・ひろおび (5): 6
 (25)山本広一・吉阪道雄(1958) 兵庫県産蝶類目録(1)
 兵庫生物 3(4): 228-236
 (26)山本広一(1971)兵庫県の蝶相 月刊むし (3): 2-10
 (S.28:MASAMI HIROHATA 姫路市)

ルリボシヤンマ・オオルリボシヤンマ の新産地 相坂耕作

北方系の種で県下では珍しい種とされているルリボシヤンマ (*Aeshna junciea* LINNÉ) は兵庫県では分布の西限に近く次の2ヶ所が既産地として有名である。すなわち氷ノ山古生沼、砥ノ峯である。しかしその後県下の各地にて得られているので記してみた。

養父郡関宮町杉ヶ沢 2♂ 9-IX-1979 Col. 相坂耕作
 " " " 2♀ 29-VIII-1979 Col. 相坂耕作
 宍粟郡安富町鹿ヶ壺 1♂ 11-X-1977 Col. 尾崎 勇

日本特産のオオルリボシヤンマ (*Aeschna nigroflava* MARTIN) は西南日本では産地は少ないとの事であるが文献上多くの産地にて得られている。その後文献上掲載されていない産地にて得られているので記しておきたい。すなわち、

姫路市広峰山 1♂ 31-VIII-1976 Col. 相坂耕作
 赤穂郡上郡町富満 1♂ 24-IX-1979 Col. 相坂耕作
 相生市三濃山 1♂1♀ 15-IX-1980 Col. 尾崎 勇
 以上である。標本を恵与頂いた尾崎勇氏に深謝致します。

(S.05: KOUZAKU AISAKA 姫路市)

昆虫館だより ⑤

千種川グリーンライン昆虫館

館長 内海 功 一

本年の大寒のころ、ガロアムシのようすが知りたくなり、近くの山を掘ってみた。案の定、凍結していない場所の石の下から小さなものや中程度のものが、かなり見つかった。

暗色の土の上をうろつく白色のこの虫はよく目立つものである。

つぎには5月頃、場所を変えて掘ってみた。この時は、ごく浅いところから見つかった。いまでもその時の3匹は生きている。

船越山でガロアムシを知ったのは、もう10年以上も前のこと、当時国立科学博物館の上野博士と姫商の森本義信先生とが、もう寒くなった11月、船越山産の新種、チビゴミムシの確認に來られたことがあった。それを手伝った所、目的のチビゴミムシは見つからず、ただ何匹かのガロアムシが出てきただけだった。

また来年ということで、翌年の5月、場所を変えて探した。その時は目的の虫も得られるし、また、ガロアムシも出てきた。

しかしこの虫については目的外で何も気にせずいたものである。

その後、昆虫館での冬季、廊下の掃除中に、見つかった白い虫がガロアムシであることはすぐにわかった。など、船越山でのこの虫との出会いにはこのような思い出もある。

県下でも、昔から地表の安定した場所で探せば、まだまだ産地が見つかっていくことだろう。

(1981-9-25、記)

(S.08: Koichi Utsumi 佐用郡南光町船越)